



Chartered April 11, 1998

THE Y'S MEN'S CLUB OF ASHIYA

President : Yasuo Ueno Address: 〒659-0074 2-8-304 Hirata-cho, Ashiya, Japan
Mail : uenoashiya@kbd.biglobe.ne.jp
URL : http://www.kobeymca.org/kobe_ymca/ys/ashiya.html

主 題

- 国際協会会長 A・シヤナヴァスカーン (インド)
“Together for a Better World “「より良い世界のために、共に」
アジア太平洋地域会長 ジョウン・ウオン(香港)
“Make a Great Impact” 「大きなインパクトを起こそう」
西日本区理事 鵜丹谷 剛 (神戸クラブ)
“Connecting Local to the World with YMCA”
「つなげよう地域と世界、YMCAと共に」
六甲部部长 小野勅紘 (西宮クラブ)
「一人は万人のために、万人は一人のために」
芦屋クラブ会長 柏原佳子
「豊かなクラブライフを！」
「タレントを惜しみなく発揮しましょう！」

今月の聖句

安心しなさい。恐れることはない。
＜マタイ福音書14章27節＞

5月第1例会

と き: 2025年5月21日(日) 19:00~21:00

と ころ: ホテル竹園芦屋

司 会: 上野恭男ワイズ

- | | |
|---------------------------------|-----------------|
| 1. 開会点鐘 | 柏原佳子会長 |
| 2. ワイズソング斉唱 | 一同 |
| 3. 聖句朗読 | 山口光一ワイズ |
| 4. ゲスト・ビジター紹介 | 上野恭男会長 |
| 5. 食前感謝 会食・歓談 | 山口光一ワイズ |
| 6. ゲストエンタテイナー 「アコーディオン演奏とお話」 | 平野新祐氏 |
| 7. 第2例会議事録の承認 各事業委員の報告 | 柏原佳子会長 各事業委員 |
| 8. YMCA報告 | 井島裕介担当主事 |
| 9. ニコニコ献金報告 | 坂東幸子ワイズ |
| 10. 誕生日祝い 権 甲植・山口光一(各ワイズ) | 柏原佳子会長 |
| 11. 閉会点鐘 | 柏原佳子会長 |

会 長 柏原佳子
直前会長 上野恭男
副 会 長 田辺征一・福原吉孝
書 記 上野恭男
会 計 桑野友子
監 事 島田 恒
担当主事 井島裕介
六甲部EMC主査 島田 恒

5

May, 2025
335号

「理事杯ゴルフコンペ開催にあたり」

会長 柏原佳子

西日本区大会が6月14日(日)に開催されますが、その前日13日に理事杯ゴルフコンペが芦屋CCで開催され、芦屋クラブが担当しています。

10組40名の予約を取り、4月21日(月)にメ切りをしましたが、9組の枠が埋まり感謝いたします。芦屋クラブからも6名の参加者と受付担当など早々に申し込みがあり、とりえずホッとしています。人数集めは大小にかかわらず責任が伴います。

前回の西日本区大会IN神戸でコンペを引き受けるために、その前年の熊本大会ゴルフコンペに参加しました。早朝4時に起床し、上野・桑野・柏原の3人は伊丹空港から熊本に向かいました。受付の様子、車の手配のノウハウを学び、多くのゴルフファンと仲良くなりました。その夜の前夜祭は、ゴルフ一色の表彰式が行なわれました。それまでもゴルフを始めた怖いもの知らずの好奇心で、中部大会、琵琶湖大会などに参加し、ベテランのお上手なメンバーにはご迷惑をおかけしました。が、恥をかくのはプレイ時のみ、表彰式ではBB狙いが外れ、下には下の女性メンバーもおられ、和気藹々の楽しいひとときでした。前回の芦屋CCでは、プレイをしないメンバーが受付も表彰式も担当いただきましたが、今回も協力・応援をしていただき嬉しい限りです。年々高齢化の進む中で、今年は、理事を始め忙しい実行委員メンバーも参加いただき「理事杯ゴルフコンペ」の名にふさわしくなりました。第2次申し込みで、更に1組が入れるとの情報が入ってきています。活気ある西日本区大会IN神戸を祈ります。

4月例会集計

| 第1例会出席 | | 例会出席率 | | BF切手 累計 gm |
|--------|-----|-----------|-------|---------------|
| メンバー | 12名 | 出席者 | 12名 | |
| メネット | 2名 | メイクアップ | 3名 | |
| コメット | | 合計 | 名 | |
| ビジター | 12名 | 在籍者 | 15名 | |
| ゲスト | 名 | (内広義会員1名) | | |
| 合計 | 26名 | 出席率 | 88.2% | |
| | | | | ニコニコ 0円 |
| | | | | 累計 71,176円 |

4月第1例会(さくら祭り)報告

日時: 2025年4月6(日) 8:00~18:00

場所: 芦屋川東岸19番テント (敬称略)

参加者: 柏原会長、上野、桑野、島田、田辺、堤、中島、濱瀬、福原、船橋・山口(各ワイズ)

ビジター: 12名(神戸・西宮・神戸ポート・宝塚各クラブ)

芦屋さくらまつりは、コミュニティーの活性化とふるさとづくりをコンセプトに昭和63年(1988年)第1回が開催されました。当時、家族で毎年おとずれたのを懐かし思い出されます。2025年は、年明けから不安定な気候で、3月に入ってから例年より寒い日が続き、さくらの開花が気になる日々でした。4月に入って、当日の天気予報が日々変化、雨模様から曇りにかわり、芦屋クラブのパワーが天に届きました。コロナ禍が終わり1昨年再開してからの2回目のさくらまつり、私は芦屋クラブでの初めての参加となりました。当日は、11名のクラブメンバーが、あ、うんの呼吸で、それぞれの役割を果たし、堤ワイズ、山ロワイズ、福原ワイズ、田辺ワイズがチヂミ担当、船橋ワイズはいそべ焼担当、私はワインと会計、柏原会長は接客と商品受け渡し、裏方で桑野ワイズがすべてを把握して、備品補充から材料作り会計まで、上野ワイズは総監督、坂東ワイズが急遽参加出来なくて残念でしたが、皆の歯車がかみ合っ、動き出しました。ワインは、偶然見つけたフランスポルドー産の赤ワインが好評で、何度も買いに来てくださり、写真までとってくださいました。ロンドンに住んでいたという人は、芦屋ワイズクラブの看板を芦屋ワインクラブと間違えられて、ワイン談議となりました。午後、中島ワイズが参加され、さすが宝塚歌劇で鍛えた美声で呼び込みがはじまり、立ち止まる人、人、そして島田ワイズも呼び込みに参加、終盤には皆のパワーが一丸となり長い1日が終わりました。



私はラインで友人・知人・卒業生にお店をアピール、当日にはご夫婦、家族できてくださり、久しぶりの交流ができました。又、宝塚クラブ、神戸ポートクラブ、神戸クラブ、西宮クラブの方々も次々とお店に来てくださり、皆さまとの交流、ご支援に感謝、感謝です。芦屋クラブの皆さまお疲れ様でした。改めて、クラブの強い絆とパワーを感じた1日となりました。

濱瀬 真知子

| さくら祭り収支決算報告 | |
|----------------------|----------|
| 売上げ(チヂミ・ワイン・いそべ焼) | ¥234,400 |
| 食材・付属品・消耗品・出店料 | ¥120,027 |
| 打上げ会費用援助 | ¥23,707 |
| 差引き さくら祭りファンド クラブ会計へ | ¥90,666 |

出版記念講演会とワイズへのお誘い

2025年4月13日(日)14時より芦屋ラポルテホールにて島田恒ワイズの出版記念講演会を六甲部・芦屋クラブの後援で開催された。100名を超えるお客様を迎え盛大なる出版記念講演会であった。演者は、芦屋クラブのメンバーであり六甲部EMC主査でもあり、メンバー拡大の一助になればという...強い思いでの開催である。

講演に先立ち、プチタ・プティの美しいコーラスグループの美しいハーモニが華を添え、素晴らしい演奏を楽しんだ。



続いて島田恒先生の講演となった。

島田先生は、神戸大学経済学部を卒業後、クラレに入社、営業部長として活躍の中、どうしてもやりたい強い信念で、コンサルタント業への転身という決断をし、経済学博士を習得、竜谷大教授、関西学院で教鞭をとり、現在は、非営利組織YMCA、ホスピス財団役員として活躍されている。



今回、「生涯現役が贈る人生の道標」の出版記念として講演をいただいた。ご自分の履歴、経済学博士として経済を見据えた見識や、経営学で世界的に著名なドラッカーとの対談から得た社会生活・経済のバランスが必要という素晴らしい実践的な提言であった。

具体的な事例の中から、アフガンで凶弾にたおれたJOCSから派遣された中村哲医師がおられる。医師として現地での医療活動に加え、アフガンの人々に食料自給実現の為、砂漠を畑に変えるべく、自ら、ブルドーザーを運転しミッションを実行したのが、中村哲医師である。素晴らしい事例が紹介されていた。私達、ワイズメンが応援するYMCAは様々な国際協力、チャイルドケア、高齢者福祉等の分野で活動している。誇るべく非営利組織である。ミッションの達成が重要であることが具体例を挙げて講演して頂いた。講演は、ユーモアもあり、講演に集中しながらも時々笑いを交えながら拝聴していた。人生の中で、真の豊かさとは、「あまりにも経済」に傾いたバランスの悪い生活から非営利組織(YMCA等...)を通じてミッション(使命)達成を目的に、ボランティアを通じて、社会との関わりをもち、経済だけに偏らず、よりよい人間関係を築き個人生活の充実を図り、バランスよい実践をという提言は、心に強く響くものがあった。

講演終了し、関西学院 院長 神戸YMCA理事長の中道基夫様よりご祝辞を頂き無事に講演会を閉じた。さて、島田先生の講演会を、ワイズメンもメンバー拡大の繋げるよい機会としなければ、ならない。ご出席いただいた島田先生の人脈の方々、教会関係の方々、六甲部のメンバー等さまざまである。これを機会にワイズメンに興味のある方々をフォローすることが大事である。一人で多くの参加者が出ることを望みたい。また、これを機会にメンバーもEMCに繋がるような実践を期待したい。



福原吉孝

神戸 YMCA 総主事就退任式報告

第11代総主事 小澤昌甲さんと 第10代総主事 井上真二さんの就退任式が4月12日午後3時、神戸聖ミカエル大聖堂において国内外のYMCA関係者とワイズメンはもちろんのこと行政、法人、企業、個人を合わせて250名の出席のもと盛大に行われました。



第1部の礼拝では牧師の説教の後、参加者全員で日本 YMCA 基本原則を交読、主の祈りを唱え、神戸 YMCA 会長の中道基夫さんによる任職、聖書の引継ぎがなされました。

小澤さんは学生時代からボランティア活動でYMCAに携わり、これまで神戸 YMCA 職員として日本語学校、学童保育、野外活動、青少年キャンプ、震災復興支援活動、認定こども園など多方面に活躍してこられ、この20年は認定こども園の運営に携わってこられた。

第2部の祝福の会はハンドベル演奏で始まり、小澤さんは就任あいさつの中で次のように言われた。「不確かな、複雑な時代においても柔軟な発想を持ち、困難の中にあっても未来を切り開くのは子供や若者であることを信じ、希望をもって『共に生きる』平和な社会を築いていくこと。そのために、様々な方々と自律的そして持続的な社会を目指して、共に歩いていくことに務めていきたい。」



私たちがワイズメンも同じ思いをもって共に生きることの大切さを実践していきたい。クラブの例会においていただきお話を聞きする機会を持ちたいな一と思いました。

田辺 征一



ワイズメンズクラブ会長、ご所属メン、メネット関係者の皆様

過日は、神戸 YMCA 総主事 就退任式における海外ゲストのウェルカムパーティーのほか、当日の式典、そして、ゲストのアテンドなど、様々なご支援を賜り感謝もうしあげます。ありがとうございます。

御礼が遅くなり、恐縮です。海外ゲストの皆様も昨夜帰国の途につかれ、今後改めて、交流などの再開や計画を話し合うこともできました。皆様のご支援に感謝し、YMCAも心新たに進めてまいりたいと思います。

今後とも何卒、ご協力、ご支援をよろしくお願い申し上げます。メールにて、失礼します。取り急ぎ 御礼まで。

小澤 昌甲

ウェルカム パーティ報告

神戸 YMCA 総主事就退任式の前日、海外から式出席に来られた方々を招いてのウェルカムパーティーに出席しました。会場はニューミュンヘン英国大使館。参加者はアメリカ、韓国、台湾、天津、タイの YMCA から 11 名、神戸 YMCA から 10 名、六甲部ワイズメンクラブから 28 名が参加しました。小野六甲部部長の開会のあいさつに始まり、食前感謝と乾杯、グループごとの出席者の紹介、海外ゲストを代表してシアトル YMCA のあいさつがあり会食が始まりました。私の隣には韓国の水原 (Suwon) YMCA の Kim さんがおられスマホの翻訳アプリを使っているいろいろとお話することができました。これからの時代は語学ができなくても海外の方と楽しくおしゃべりができることを実感しました。会はものすごい盛り上がりで騒音のためにスマホはこ



ちらのしゃべることがしばしば聴き取れないほどでした。おいしい食事でおなかもふくれた後半はお待ちかね大野勉ワイズのギター伴奏による歌の時間。「世界の国からこんにちは」、「アリラン」、「カントリーロード」、「時の流れに身をまかせ」(テレサテンは台湾生まれ)、「ふるさと」など各国の歌を大合唱。会は最高潮に盛り上がり2時間はアツという間でした。最後に神戸 YMCA 国際委員のロニーさんの英語と日本語を交えた閉会のあいさつに皆さん余韻を残しお開きになりました。

田辺 征一



会場みんなで大合唱

田辺 征一

神戸ポートクラブ チャリティーコンサート

若いっていいな、音楽っていいな、助け合うっていいな。そんなことを考えさせられたチャリティーコンサートでした。

長田高校のメンバーたちの声、非常に良かったですし、さすが賞を獲るくらいだなと思いましたが、表情の良さにも心を奪われました。何の打算もない純粋な姿、心が洗われるような気分でした。

私が5歳で経験した阪神・淡路大震災。それを経験していない世代がどんどん増えているわけですが、こういったイベントや交流を通して、下の世代にも災害について考えるきっかけが増えればと思います。

後半は聴いたことのない新しい楽器(ハンマーダルシマー)に出会うことができ、それもまた良い経験でした。音色がめっちゃ綺麗!まだピアノができる前にできた楽器。世の中知らない世界ってたくさんあると思うので、いろんなことをこれからも経験したいなと思われました。

石巻からも人が来られ、物産品のところにも並んでいました。まさに助け合い。助けてもらったから次は私がという循環は素晴らしいなと思いました。

私が東日本や熊本、岡山の水害などボランティアに行こうと思ったのは、やはり自身の阪神大震災の経験があったのも大きいです。

災害自体は悲しいことですが、それが絆を生むこともある。常に前向きに頑張っていくことが大事。学びの深い1日になりました。

山口光一

『 聖句 読み説き 』

5000人の給食の奇跡物語に続く、ガリラヤ湖上を歩くイエスの話である。荒れる湖で、イエスは弟子たちに声をかける。「安心しなさい。わたしだ。恐れることはない。」すると一番弟子のペトロは「水の上を歩いてそちらへ行かせてください。」と言うと、イエスは「来なさい」と答える。ペトロは湖に足を踏み入れると、荒れる湖に恐れをなして、叫ぶ「主よ、助けてください。」イエスは手を伸ばして捕まえ、「信仰の薄い者よ、なぜ疑ったのか」と言われると風は静まる。弟子たちはその様子に「本当に、あなたは神の子です」とイエスを拜んだという。「主よ、助けてください。」と叫ぶとき、必ず手を差し伸べてくださるイエスであることを、このガリラヤ湖の嵐の中で、聖書は語る。これはいつもイエスから目を離すなどの警告である。

羽太英樹

2025年4月第2例会議事録

場所： 芦屋市民センター別館 212号室

日時： 4月23日(水) 18:30~20:00 (敬称略)

参加者： 柏原会長、上野、桑野、島田、田辺、福原、坂東(各ワイズ)

井島祐介・横山徹太郎(新旧担当主事)

ブリテン編集会議： 18:30~

議事・報告

◇第1例会、今後の予定の討議

- ・5月21日(水)音楽例会 アコーディオン演奏
- ・6月17日(水)次期会長と共にこれからの一年を考える

◇今後の予定

- ・4月26日(土)神戸ポートクラブコンサート チケット購入
- ・4月21日(月)西日本区大会実行委員会 柏原・上野
- ・5月9日 第1回YMCAチャリティラン実行委員会
Yサ委員が18:30~ZOOMのみで参加
- ・5月14日(水)宝塚クラブ第1例会於西公民館
18:30~20:30
神戸在住のウクライナ避難者が語る「今」そして「これから」
参加者： 柏原・桑野・島田・田辺・坂東
- ・5月17日(土)「アートで考える共存社会」
神戸YMCAチャペル 1400~
- ・6月13日(金)芦屋カンツリー倶楽部にて理事杯ゴルフ
参加者：上野・柏原・桑野・島田・濱瀬・福原
(堤・坂東受付)
18:00よりポートピアホテルGOKOKUにて表彰式
- ・6月14日 西日本区大会 ANAクラウンプラザホテル
参加者： 上野・柏原・桑野・島田・田辺・堤・濱瀬・坂東・福原・船橋 (10名)

◇さくら祭り会計報告 桑野ファンド委員長 承認

◇3月会計報告 桑野会計 承認

◇ポロシャツ購入クラブ全員 2,000円(15枚購入支払済み)

◇芦屋市民センター予約担当者を坂東ワイズとする

◇YMCA報告と井島裕介担当主事の自己紹介

★4月26日より芦屋市民センター本館が開設されます

文責 上野書記

5月例会エンタテイナー平野新祐氏紹介

アコーディオン奏者として長年のキャリアを持ち、幅広い音楽のジャンルのイベントやコンサートに出演している。後進の指導も請け負う。平野倶楽部主催、大正区社協講師、マラソン全都道府県入賞。

YMCA ニュース

■神戸 YMCA ファミリーウェルネスセンターのご紹介

ファミリーウェルネスセンターは神戸市中央区脇浜町にあります。2014年9月に前会館(現三宮会館)から移転をし、開設



してから10年が経ちました。アクアティック(水泳)や体育・体操、バスケットボールなどのクラスがあり、毎日子どもたちの活動が行われています。新年度になり1カ月が経とうとしていますが、学年が上がり新しいプログラムにチャレンジすることでの

期待感や、初めて保護者と離れて一人でプログラムに入っていくことなどの不安感でワクワク・ドキドキな気持ちが溢れかえって館内は賑わっています。「大丈夫だよ！よく頑張ったね！」と励ましあう姿。初めての友達に優しく教えてあげる子どもたち。ファミリーウェルネスセンターは一人ひとりのしたい何かが「みつきり」、お友だちやリーダー、また保護者同士で「つながり」クラスの活動によって心身ともに「よくなっていく」。YMCAブランドのスローガンである「みつかる。つながる。よくなっていく。」ことが体感できる場所になっています。 担当主事 井島 裕介



編集後記に替えて:

LIGHT it up BLUE Japan2025

4月2日(水)芦屋ペDESTリアンデッキ(JR芦屋駅北側)にて、世界自閉症啓発デー(毎年4月2日)・発達障害啓発期間(4月2日~8日)に、ブルーの色で繋がる「ブルーアクションでやさしい気持ち」キャンペーンが実施されました。神戸クラブの川崎孝子ワイズが3月の例会に来られて熱心に誘われ、クラブメンバーもブルータオルを購入協力しました。



当日はシンガーソングライターTAKERUのライブがあり、芦屋市市長も参加されていました。世界172カ国が青い光で繋がる、みんなの願い



皆でブルーの風船を飛ばす
を込めて青い風船を高く飛ばそう!

上野・柏原・桑野・中山・島田(各ワイズ)が参加しました。

桑野友子